

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	介護給付の適正化の推進
------	-------------

現状と課題

奈良県の高齢者人口は、平成12年度より一貫して増加している。高齢化率も平成21年以降全国を上回っており、今後も高齢者人口が増加していくことが見込まれる。それに伴って、要介護認定者数や介護給付費も年々増加しており、今後も増加傾向といった現状がある。

このような中、介護が必要となっても、利用者の能力に応じ自立した質の高い日常生活を営むことができるよう、介護予防、自立支援、要介護状態等の軽減又は悪化防止に資するような介護給付をどのように推進していくか課題である。

第8期における具体的な取組

- 1 自立支援、介護予防、重度化防止につながる介護給付の推進に向けた市町村の取組を推進するため、介護給付の地域差分析結果の情報提供、ケアプラン点検のノウハウ習得のための支援、県ケアマネ専門職の派遣等を実施。
- 2 効果的・効率的な介護給付の推進に向けた市町村の取り組みを促進するため、介護給付適正化システムを活用した研修会の開催や給付実績データを活用した取組等を支援。
- 3 適切かつ公平な要介護認定の確保と認定調査の平準化を図るため、認定調査員や市町村担当者等を対象とした研修会を開催するとともに、市町村に認定結果の点検等の取組を促進するため、要介護認定調査の分析を実施し、その情報を共有する等により市町村を支援。
- 4 介護給付等対象サービスの質の確保及び保険給付の適正化を図ることを目的に、市町村と連携して公正かつ機動的に、介護サービス事業者等に対する指導を実施。

目標（事業内容、指標等）

- 1 ケアプラン点検実施市町村数
33市町村(R1) → 39市町村(R5)
- 2 要介護認定調査（点検）実施市町村数
30市町村(R1) → 39市町村(R5)
- 3 平均要介護期間(65歳時)
男性：県 1.70年、全国平均 1.59年(R1) → 全国値を下回る(R5)
女性：県 3.68年、全国平均 3.34年(R1) → 全国値を下回る(R5)
※65歳平均余命及び平均自立期間より算出
- 4 市町村別認定率の地域差（年齢補正後）
1.6倍(H30) → 地域差の是正(R5)

目標の評価方法

- 時点

- 中間見直しあり

- 実績評価のみ

- 評価の方法

- ・ケアプラン点検実施市町村数、要介護認定調査（点検）実施市町村数について、市町村へアンケート調査を実施する。
- ・平均要介護期間（65歳時）については、県関係課が実施する調査結果により確認する。
- ・市町村別認定率の地域差（年齢補正後）について、地域包括ケア「見える化」システムにて確認する。